

公開人権研修会

11月22日（木）、全盲の落語家 桂福点（かつらふくてん）さんを招き、午前中は、福点さんと児童・生徒との交流会、午後からは、公開人権研修会として、福点さんに講演や落語をしていただきました。

交流会では、児童・生徒が「だじゃれ」や「なぞかけ」を発表し、その一つひとつを福点さんが丁寧に取り上げ、笑いに繋げて下さいました。児童・生徒は終始笑顔で、大きな笑いに交流会が包まれていました。



研修会では、児童・生徒や保護者、地域の人たち約130人が体育館に集まり、桂福点さんの講演や落語を聞きました。桂福点さんは、視覚障害者の友人が駅のホームから転落して死亡した事故を基に落語を創作。笑いを交えみんなの関心を引きつけながら、誰もが安心して利用できるような環境づくりの大切さ、人の命を守るのは人の力であることなどを呼びかけてくれました。